

地区別土地利用誘導ガイドライン

エリア (4)	地区 (11)	ビジョン	誘導目標
【多摩川パワースイトエリア】 ・川崎駅周辺地区と連携し、羽田空港国際化のポテンシャルを活かした都市整備 ・アメニティ豊かな水と緑の軸の形成 ・戦略拠点としての神奈川口整備	①多摩川リバーサイド地区 (202ha) 戦略拠点 殿町3丁目地区	・隣接する多摩川環境や羽田空港のポテンシャルを活かした整備を目指す ・臨海部の発展を先導する土地利用の誘導 ・環境・福祉・医療・健康・新エネルギー等の研究開発拠点や臨空産業の誘致	・羽田空港国際化を活かした都市整備 ・アメニティ豊かな水と緑の軸の形成 ・多摩川へのアクセスルートの確保 ・職住近接・多世代交流型住宅地への誘導 ・戦略拠点としての殿町3丁目地区の整備
	②塩浜西地区 (111ha)	・住工が共存できる複合市街地を目指す (産業系土地利用から住宅地への転換が進行しているため、この適切な誘導が必要)	・産業道路沿道の環境改善 ・鉄道駅に近接したバスターミナルの整備 ・中小工場の操業環境の確保、土地利用転換する場合の適切な誘導
【川崎臨海東部エリア】 ・コンビナートの高度統合化 ・研究開発機能の強化 ・未利用排熱・エネルギーの有効利用 ・防災・減災への総合的対応	③塩浜東地区 (256ha)	・交通結節点としての機能の強化を目指す ・塩浜操車場等の物流機能の強化を目指す ・殿町夜光線沿道の環境改善を目指す ・公的施設の集積を活かした市街地の整備を検討する	・化学・金属工業の高効率化と研究開発機能の強化に向けた誘導 ・塩浜操車場の物流基地化にむけた整備検討 ・殿町夜光線の各交差点整備・沿道環境改善 ・公的施設の再整備に併せた地域環境の改善等
	④浮島町地区 (384ha)	・コンビナートの高度統合化、未利用エネルギーの有効活用の促進を目指す ・研究開発機能の拡充に向けた動きを促進する ・交通利便性の向上に向けた取り組みを誘導する	・石油精製・化学の高効率化と研究開発機能の強化に向けた企業間連携の推進 ・化学系の研究開発機能強化に向けた誘導 ・企業連携によるバス等交通利便性の向上 ・新エネルギーの導入促進
【川崎臨海中央エリア】 ・東京港・横浜港との広域連携による川崎港の活性化と羽田空港の国際化にも対応した物流拠点の形成 ・土地利用転換の誘導によるものづくり機能の強化 ・重点整備地区としての水江地区整備	⑤千鳥町地区 (207ha)	・(西側) 港湾機能の強化に向けた市営埠頭の再整備を目指す ・(東側) 効率的なコンビナートとしての高度化を目指す	・石油化学・エネルギーの高効率化・高付加価値化に向けた企業間連携の推進 ・市営埠頭の再整備 ・川崎駅東扇島線沿道の整備 ・既存緑地のアメニティ向上
	⑥東扇島地区 (484ha)	・高機能な物流拠点の形成を促進する ・東公園・西公園の市民の憩いの場としての充実を図る ・交通利便性の向上を目指す	・放置車両対策等による円滑で安全な交通の確保 ・東公園・西公園等を活用したアメニティの向上 ・バス等の交通利便性の向上
【川崎臨海西部エリア】 ・鉄鋼等を中心とした土地利用の高度化・高付加価値化と新産業の導入促進 ・多様な業種に対応した交通・産業基盤の整備 ・戦略拠点としての浜川崎駅周辺地区の整備	⑦水江町地区 (177ha) 重点整備地区 水江地区	・製鉄所機能・石油精製機能の高度化を促進する ・臨港道路東扇島水江町線の整備を促進する ・先端技術を事業化する機能を導入し、臨海部を先導	・土地利用転換による交通負荷の低減 ・交通負荷の増大に配慮した土地利用誘導 (容量の検討・シミュレーション・課題共有・立地規制の検討) ・先進的製造業の導入
	⑧扇町地区 (182ha)	・エネルギー供給拠点としての整備を促進する ・ものづくり機能、埠頭機能等の高度化促進する	・製造、物流、エネルギー、リサイクル等の複合産業地区としての整備 ・道路利用者間の連絡体制の強化・利害調整 ・交通負荷の増大に配慮した土地利用誘導 ・土地利用転換の適切な誘導
【川崎臨海西部エリア】 ・鉄鋼等を中心とした土地利用の高度化・高付加価値化と新産業の導入促進 ・多様な業種に対応した交通・産業基盤の整備 ・戦略拠点としての浜川崎駅周辺地区の整備	⑨浜川崎駅周辺・浅野町地区 (243ha) 戦略拠点 浜川崎駅周辺地区	・住宅市街地との共生に向けた取組を誘導する ・南武支線の利便性向上を目指す ・研究開発拠点 THINK の充実 ・小田栄地区の整備促進	・南武支線の利便性向上に向けた取り組み ・臨海部幹線道路の段階整備の検討 ・THINK での研究開発機能の誘致、コンテンツ産業等の導入、新しい文化の発信 ・後背地の住宅市街地との共生
	⑩白石・大川地区 (85ha)	・コンパクトな複合都市型工業地域としての活性化を目指す	・駐車場の整備による交通環境の改善 ・自転車及び歩行者の安全確保のための環境整備 ・コンパクトな工業地帯としての魅力アップ
	⑪扇島地区 (395ha)	・高効率な製鉄所機能の充実を促進する ・遊休地の有効活用に向けた検討を促進する	・製鉄所の高効率化・高付加価値化に向けた誘導 ・立地企業間の連携強化による土地の有効活用 ・新エネルギーの導入促進

エリア・地区の面積 合計 2,726 ha
 (* 浮島地先を含めた面積 2,827 ha)